

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	専攻科	科 目 区 分	専 門 分 野	授 業 の 方 法	講 義 演 習
科 目 名	文献情報学	必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	バイオサイエンス専攻 1年	学期及び曜時限	前期	教室名	403教室
担 当 教 員	矢野 昌人	実務経験と その関連資格	工学博士(生命工学)の学位を取得。産学官連携プロジェクトに研究員として参加し、分子生物学的手法をもちいて研究に従事(2年半)。大学の助教として、分子生物学的手法、細胞培養、動物実験をもちいて研究に従事(4年)。		
《授業科目における学習内容》 一般的な論文の構成についての理解を深める(アブストラクト、KeyWords、イントロダクション、実験材料と方法、結果、考察、結論、謝辞、引用文献)。また、それらの項目で書くべき内容やどのように記述すべきかについて解説する。また学術論文を講読し、論文に慣れるとともに論文の正しい読み方を理解する。また、卒業研究発表会に向けたパワーポイントの作成と発表練習、報文集の作成も行う。					
《成績評価の方法と基準》 論文のまとめと発表、質疑応答の回数とその内容について評価を実施する 1 授業への取り組む姿勢やノート評価70% 2 出席評価20% 3 平常点10%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》 プリント配布					
《授業外における学習方法》 インターネットや図書室を利用し、最新の論文についての情報をまとめる					
《履修に当たっての留意点》 研究とは新しい発見、法則を見つけるものであり、世界に発信および共有することでその価値が認められるものである。よって論文作成は、研究と同じくらい重要度の高いものである。まずは論文の構成を知り、書き方を学んでもらう。様々な論文を講読し卒業研究へと活かす。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	論文の構成について説明できる	特になし	授業ノートを利用して、 学習範囲の復習を行う
		各コマに おける 授業予定	論文作成の目的 論文の構成(アブストラクト、KeyWords、イントロダクション、実験 材料と方法、欠課、考察、結論、謝辞、引用文献)		
第2回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	学校が指定した論文について読んで理解し、まとめることができる	特になし	授業ノートを利用して、 学習範囲の復習を行う
		各コマに おける 授業予定	論文のまとめ(要約作成)と発表		
第3回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	自身でインターネットを利用して検索した論文について読んで 理解することができる	特になし	授業ノートを利用して、 学習範囲の復習を行う
		各コマに おける 授業予定	論文調査と要約の作成		
第4回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	自身でインターネットを利用して検索した論文について読んで 理解することができる	特になし	授業ノートを利用して、 学習範囲の復習を行う
		各コマに おける 授業予定	論文調査と要約の作成		
第5回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	自身でインターネットを利用して検索した論文について読んで 理解することができる	特になし	授業ノートを利用して、 学習範囲の復習を行う
		各コマに おける 授業予定	論文調査と要約の作成&発表		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	自身でインターネットを利用して検索した論文について読んで理解することができる		特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う
	各コマにおける授業予定	論文調査と要約の作成&発表			
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	自身でインターネットを利用して検索した論文について読んで理解することができる		特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う
	各コマにおける授業予定	論文調査と要約の作成&発表			
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	自身でインターネットを利用して検索した論文について読んで理解することができる		特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う
	各コマにおける授業予定	論文調査と要約の作成&発表			
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	自身でインターネットを利用して検索した論文について読んで理解することができる		特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う
	各コマにおける授業予定	論文調査と要約の作成&発表			
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	自身でインターネットを利用して検索した論文について読んで理解することができる		特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う
	各コマにおける授業予定	論文調査と要約の作成&発表			
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	自身でインターネットを利用して検索した論文について読んで理解することができる		特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う
	各コマにおける授業予定	論文調査と要約の作成&発表			
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	自身でインターネットを利用して検索した論文について読んで理解することができる		特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う
	各コマにおける授業予定	論文調査と要約の作成&発表			
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	プレゼンテーションのポイントを理解し、適切なパワーポイントを作成できる		特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う
	各コマにおける授業予定	パワーポイント作成におけるポイントの説明 プレゼンテーション練習(卒業研究用)			
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	プレゼンテーションの添削を通して、より良いパワーポイントを作成できる		特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う
	各コマにおける授業予定	作成したプレゼンテーションの添削 プレゼンテーション練習(卒業研究用)			
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	プレゼンテーションの添削を通して、より良いパワーポイントを作成できる		特になし	授業ノートを利用して、学習範囲の復習を行う
	各コマにおける授業予定	作成したプレゼンテーションの添削 プレゼンテーション練習(卒業研究用)			